

30歳から歯周病対策!

歯周病は30~40代くらいで発症する人が多いですが、40歳を過ぎるくらいになると悪化する人が増えてきます。これには加齢による免疫力の低下や唾液の減少などが関係しています。歯周病は初期の頃には自覚症状がありませんが、進行すると次のような症状があらわれます。



歯周病の主な症状



歯ぐきから血が出る



口臭がひどい



口がねばる



歯ぐきが腫れる



歯ぐきが下がる



歯がグラグラする



歯の隙間が広がった

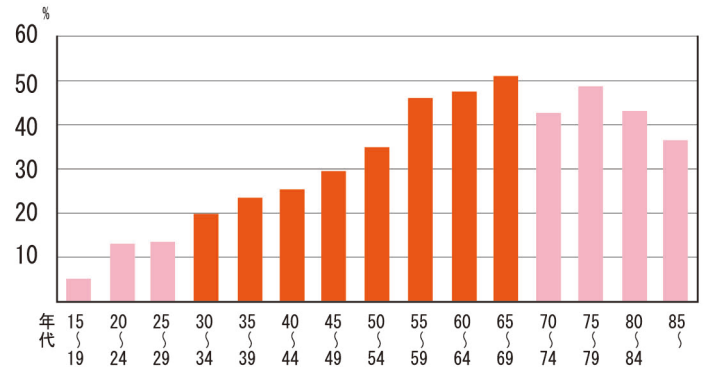


成人のおよそ8割がかかっていると 言われる歯周病

◆歯周病

グラフは年代別の歯周病の状況を表すもので、30代から徐々に増加がみられ、70代から歯周病などで歯を失うため減少しています。

歯周病(歯周ポケット4mm以上)を有する者の割合

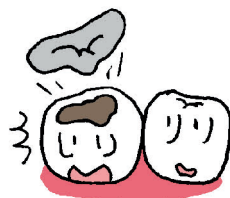


自覚症状がなくても、むし歯や歯周病にかかっている場合があります。歯科医院での定期的なお口のチェックで、歯を失う原因の多くを占めるむし歯と歯周病を予防しましょう。



歯のQ&A

Q 被せ物や詰め物は、
どうしてはずれるの?



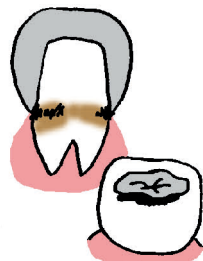
A 被せ物や詰め物は次のような原因で外れることがあります。

もし外れたら外れた物を持って、できるだけ早めに受診してください。そのままの状態では置してしまうと、さまざまなトラブルの原因になります。



被せ物や詰め物の下が むし歯になっている

詰め物やセメントが劣化すると、歯との間に隙間ができ細菌の棲みかとなります。その状態が続くと、いつの間にか被せ物や詰め物の下がむし歯になり外れる原因になります。



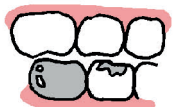
歯ぎしり・食いしばり

歯ぎしりや食いしばりなど、歯に強い負荷がかかると、被せ物や詰め物は外れやすくなります。



かみ合わせの変化

かみ合わせは様々な要因で変化します。治療をした時にはかみ合わせが合っていても、次第に合わなくなってくる事があります。強く当たる所がでると外れやすくなります。



歯が割れている

歯の頭の部分や根っこの部分が割れて、被せ物・詰め物が外れてしまうことがあります。



セメントの劣化

被せ物や詰め物を歯に接着させる歯科用セメントが劣化し、溶け出して外れることがあります。

